



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MEN' S CLUB

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998 JAPAN

国際会長主題	「言葉より行動を」	“Talk Less, Do More”
アジア地域会長主題	「未来を始めよう、今すぐに」	“Start Future Now”
西日本区理事主題	「響き合い、ともに歩む」	“To walk together, echoing each other”
中部部長主題	「将来を見つめたワイズ活動」を今やってみよう！	
金沢クラブ会長主題	“ Y's Be Ambitious !!”	

2014 11 月間強調 Public Relations Wellness

今月の聖句 (担当 伊藤仁信君)

人を裁くな。そうすれば、あなたがたも裁かれることがない。人を罪人だと決めるな。そうすれば、あなたがたも罪人だと決められることがない。赦しなさい。そうすればあなたがたも赦される。
 ルカによる福音書6章37節

11月強調月間

ワイズデーの広報をして、ワイズメンズクラブの認知度を高めましょう。
 広報・情報委員長 加藤信一
 (京都トップスクラブ)

11月例会プログラム

とき	2014年11月20日 (Thu.) 18:30~20:30
ところ	金沢ニューグランドホテル
会費	¥3,000(会員不要) ¥2,000(メット)
	司会 澁谷洋太郎君
開会・点鐘	清水淳会長
主 題	司 会 者
ワイズソング	一 同
今月の聖句	聖句担当者
ハッピーハーベストデー	清水淳会長
ゲスト紹介	西 信之君
食前の感謝スピーチ	山内ミハルさん
	“国が考える水素社会実現への道”
	西 信之君
委員会報告	各 委 員
ニコニコタイム	山本達也君
YMCAの歌	一 同
閉会・点鐘	清水淳会長

10月クラブ活動状況

第1例会 (10月16日 Thu.)	
メ ン :	伊藤、数澤、幸正、澁谷、清水、西、山内、山本 (8名)
メキヤップ :	藤井 (1名)
出席率 :	100 %
メネット :	伊藤、数沢、山本 (3名)
ゲ ス ト :	細川章・伸子ご夫妻 (2名)
第2例会 (10月2日 Thu.)	
メ ン :	数澤、清水、澁谷、藤井、山内 (5名)
メネット :	数澤 (1名)
ニコニコタイム	11,000円
クラブファン ド 累計	39,900円
B F ポ イ ン ト	
切手	120g 累計 120g
現金	0円 累計 0円

会 長	清水 淳	書 記	山内ミハル
副会長	澁谷洋太郎	会 計	伊藤仁信
直前会長	幸正 一誠	メット会長	数澤淑子

第一例会：毎月第三木曜日 18:30~20:30
 金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311
 第二例会：毎月1日 18:30~20:00
 金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

「閑上（ゆりあげ）の記憶」の歴史と由来

数澤 輝夫

去る9月14日「新老人の会」第8回ジャンボリー宮城大会に参加しました。大会終了後、被災地訪問ツアー半日コースで名取・閑上方面沿岸被災地域視察に出かけました。その中で「閑上（ゆりあげ）の記憶」の歴史と由来とを語り部からお聴きしました。2011年3月11日の東日本大震災によって壊滅的な被害を受けた名取市閑上です。かつては5,000人以上の方々が、住んでいた街は更地になってしまいました。閑上中学校では14名の生徒が津波の犠牲となりました。震災か



ら1年経った2012年3月11日に閑上中学校遺族会は閑上中学校敷地内に慰霊碑を建立しました。しかし、慰霊碑の周りには水が出る場所もなく、献花や千羽鶴も野ざらしの状態でした。そこで2012年4月22日、認定NPO法人「地球のステージ」と日本国際民間協力会が協力して慰霊碑近くの更地に「閑上の記憶」が建てられました。慰霊碑を守る社務所として、閑上の方たちが立ち寄れる場所として、その震災を伝える場所として、地元の方たちを中心に「閑上の記憶」は発展してきました。国内外からの来訪者の増加に伴



い視聴覚ルーム兼語り部ルームも増設されました。2013年8月11日の月命日に、「閑上の記憶」増築記念式典が執り行われています。これからも慰霊碑を守りながら震災を未来に語り継いでいく役割を担っているのです。これが「閑上の記憶」の歴史であります。



また、由来は自分たちが確かにそこに生きてきた「記憶」、そして津波によって多くのものを失った「記憶」、それらは感情を伴って心の中の大きな部分を占めている。しかし、その記憶がきちんと整理されていないと、人はなかなか立ち上がれず、そこから前に進めません。この世に二度と行けなくなってしまった場所があって良いはずはなく、二度と語れなくなってしまった話があって良いはずがありません。自分の記憶や感情に向き合い、その人にとって大切な「記憶」を整理するための場所として「閑上の記憶」という名前にしたとのことでした。今でも閑上中学校の時計は東日本大震災2011年（平成23年）3月11日（金）発生時刻14時46分を示したままで廃校となっていました。

西 信之氏 プロフィール

2011年3月に文部科学省自然科学研究機構を65歳で退職。名古屋工業大学でプロジェクト教授を務めた後、金沢大学で2013年迄企業と共同研究に任る。1984年科学技術庁新エネルギー部会でメタンハイドレート的重要性を説く。同時期にサントリーと共同研究を開始（独自の蒸留塔）。2005年より電池材料の研究に従事、新日鉄化学、日産自動車、トヨタ自動車、デンソーと共同研究。現在、新日鉄化学技術アドバイザー。

【10月例会報告】

10月例会は和やかな食事の後、現在金沢市内の小学校校長としてご活躍の細川章氏をゲストスピーカーとしてお招きし、「今、学校では」と題して、小学校現場の実情をお話いただきました。すでに半世紀以上昔に小学校を卒業したものがほとんどのメンバーにとって当時と大きく変わった小学校の様子に、子どもや孫を

通して時代の変化を知ってはいるものの、学校教育が抱える課題について今一度深く考えさせられるものがありました。



細川氏はまず、学校の組織について、職種別に管理職、新たな職、教諭、養護教諭、栄養教諭、事務、校務士、講師、非常勤職員に分かれていること、更に教育・指導の責任者として教務主任、研究主任、生徒指導主任、保健主任、学年主任、進路指導主任、その他の主任、担当が置かれていること、また、校務として（総務、庶務、教務）、（経理、管財、文書）、（備品、学籍）、（清掃、環境）、（安全）、（給食）、（教科書、図書）、（厚生など）と校務が分けられ、学年や個人で分掌すること、研究分野別に学習委員会、生徒指導委員会、特別活動委員会、健康体力委員会と複雑な組織をもち、教員、職員がそれぞれ何役も役割を果たしていることが説明されました。

次に現在の学校が抱える課題として、学力問題、いじめ問題、不登校問題、基本的な生活習慣、特別支援教育など生徒が抱える問題の他、教師側の課題として大量退職、不祥事、不審者対策などがあることが語られました。

更に最近の子どもたちの特徴として

- ・人間関係を築く力が弱い
- ・集団に適応できない
- ・集団の良さや協力が理解できない
- ・規範意識が乏しい
- ・自己中心的で協調性に欠ける
- ・基本的な生活習慣が身に付いていない

と分析されました。

その上で、細川校長の学校では『心豊かで、たくましく生きる子どもの育成』を教育目標とし、『明日も来なくなる学校、明日も行きたくなる学校』を学校経営の基本方針としておられるとのことでした。

半世紀以上も昔の、自分たちの小学校時代のことを思い出しながら、現代の教育のむずかしさについて会

話が弾みました。

かつて中学、高校で校内暴力が問題になりましたが、最近では小学校での校内暴力が増加しているようです。教師の指導が気に入らなくて教師を足でけったり、友達同士でもはさみで傷つけ合ったり・・・と、子どもたちの暴力行為の多発には、「大人の良い子圧力」が影響していると識者は言っています。ゆとり教育が破たんし、学習内容は25%増加、授業時間が278時間増加しているといいます。かつては無かった古文、漢文、英語といった科目が増え、子どもたちのストレスとなっているようです。更に子どもの6人に1人が「子どもの貧困」であるといわれ、子どもの社会が大きく変わっているようです。いま、「老後」の生活に入った私たちですが、これからの社会を担っていく若者、子供のために、もう一働きしなければ・・・と考えたひとときでした。

(文責 山内ミハル)

~~~~~ お知らせ ~~~~~

☆ながまちふれあいフェスティバル2014

日時： 11月30日（日）10：00～15：00

場所： 中央公民館長町館・老舗記念館

金沢YMCA・金沢ワイズメンズクラブ・金沢犀川ワイズメンズクラブの活動報告展示コーナーがありますのでお出かけ下さい。

☆BF 負担金について

11月例会時に、BFの負担金を集めます。

1人 1,500円

ご持参ください。

☆ボジョレーヌーボーを楽しむ会

日時：12月4日（木）17：00～

場所：山本メン宅

詳細は11月例会で！



~~~~~ YMCAからのお知らせ ~~~~~

☆第18回YMCA大会

日時：2014年11月22日（土）～24日（祝）

場所：東山荘

テーマ：「BEYOND～越えてゆこう、出会うために」

参加予定：清水君

☆ユニセフ街頭募金について

日時：12月23日（火・祝日）13：00～14：00

場所：堅町入口

Happy Birthday

メン 山本 達也君 11月17日
メネット 伊藤 悦子さん 11月15日

12月の担当

ブリテン執筆：幸正 一誠君
数澤 淑子さん
卓話担当：山内ミハルさん

メ ネット 報

朝のドラマ“花子とアン”が終わって

NHKの朝ドラ“花子とアン”は、見ていた方はご存じだと思いますが“赤毛のアン”を訳された村岡花子さんの少女時代から本が出版されるまでのドラマでした。私はNHKの朝ドラマは“おしん”以来見たことがありませんでした。朝のあの15分は貴重な時間でしたので、ニュース系のテレビをつけっぱなしで、ちら見しながら他の仕事をしていました。

“花子とアン”も最初は見ていませんでした。ある時、私のいとこ（同じ年）が、メールで“花子とアン”にはまって一日に3回（朝昼BS）見ることがあると、知らせてきました。え！3回も、そんなにおもしろいの？ちょっと気になってきました。そしてある日曜日、実家に行っていた時に、“花子とアン”の前編だけの特集をやっていました。見ていたところ、どんどん引き込まれ、後編も見たいという気持ちになってしまい、次の月曜日の朝から見ることにしたのです。主人から、何がおもしろいの？ニュースにしないの！何で涙ぐんでいるの？などいろいろ言われてしまいました。一人の少女がああ時代、厳しい環境にもめげず一生懸命生きて、力をつけていく、そんな彼女を支える家族や、女学校の友人達との友情など、毎日テレビにくぎ付けでした。また、花子さんの女学校が現在の東洋英和女学院の前身であり、私の2人の姪が東洋英和に通っていたこともあって、すごく親近感を覚えました。でも2人から“ごきげんよう”のあいさつを聞いたことは一度もありませんでした。あの戦争の時代に英語の本をあれだけ訳していたのは本当に大変だったと思います。私も子供のころ世界文学全集を夢中で読んで覚えがあります。花子さんの翻訳した「王子と乞食」、「アンクルトムの小屋」「赤毛のアン」も読みました。今の時代のように、子供向けのテレビ番組やゲームがない時代だったのでたくさんの子供たちが花子さんの本を読んでいたと思います。その子供たちが大人になり、そうだったのかと懐かしくテレビ「花子とアン」を見ていたのではないのでしょうか。

（山本 典子 記）

【芋煮会】

11月1日（土）、恒例の金沢クラブメネット会による芋煮会が開かれました。この芋煮会の歴史は古く、もう20年くらいになると思います。はじめはメネット会が組織されて間もなく、メネットの懇親会として、メンを交えて始められました。数澤メネットが職場で行われたものを、おいしくて楽しいからと、私たちメネットに伝授してくださったものです。

2、3年後、YMCAの子どもたちを招待しようということになり、十数年来の恒例行事となりました。今年は招待したYMCAからは小学校1年生の母子1組の参加でした。ここ数年YMCAからの参加がほとんどないのは残念なことです。



幸正前会長が入れてくださったコーヒータイムのあと、手慣れたメネットさんたちの手際よい準備と調理、火の番を買って出てくれたメンの方々との協働により、芋煮の味は抜群。おにぎりとお漬物も数澤メネット会長手作りの御漬物がだされ、おいしくいただきました。梅光保育園児が収穫してきた五郎島金時の焼き芋で、腹八分を越えて、みなさん満腹。

金沢大学に留学中というエジプト人の学生さんと



もお互いの食べ物を少し分け合って、思わぬ国際交流にもなりました。

（山内ミハル記）